

令和2年度袋井市協働まちづくり事業 採択事業一覧

No.	団体名	事業名	概要	採択結果	総合評価	担当課
1	小中学生の科学教室	小学生のための科学教室	科学技術の発展が国の発展に繋がることから、未来を担う袋井市の子どもたちが、実験や体験を通じて科学技術について楽しく学べる教室の開催を提案する。 子どもとその保護者が一緒に参加できるため、家庭での予習や振り返りがしやすく、学習内容の定着化が期待できる。 1 期 間 令和2年6月～12月(約7か月間) 2 対 象 市内小学3年生～6年生 約30名 3 受講料 無料(教材費は受講者負担) 4内 容 (1)サマースクール(8月) コンピューターの仕組みと科学についての講義と電気や化学の実験を行う。 (2)ロボット・プログラミング教室(9～11月) ロボットの製作を通じて、コンピューターとプログラミングについての基礎を学び、自分で考えたプログラミングを使いロボットを動かしてみる。	条件付補助	ICTを活用できる人材の活用及び育成を推進する本事業は、必要性が高いと判断します。 オンライン講座を行う場合、参加希望者が講習を受けることができる環境整備や企業協賛に向けた企業訪問の時期、内容を再考いただきたいため、「条件付補助事業」として採択します。	◎ICT政策課 学校教育課 生涯学習課
2	いのちの神秘を伝える助産師の会	Café de Midwife	妊娠・出産・育児に必要な情報提供や学びの場、経験の共有できる場を作り、妊婦や母親が気軽に専門的知識を持つ助産師に相談できる環境を整える。また、施設の枠を超えて助産師同士が交流できる場ができ、連携関係がスムーズになり、必要な情報の共有できる機会とする。	条件付補助	妊娠期から助産師との交流を設けることは、育児に対する不安や悩みの軽減につながるなど必要性が高いと判断するが、事業の継続性を確保するために、収支のバランスをとることが必要である。企業から支援を受けるため、機関誌の内容を充実させるなど次年度以降につながる取組に力を入れて欲しいため「条件付補助事業」として採択します。	健康づくり課
3	特定非営利活動法人ブライツ	学校と市民を繋ぐ「教育を知らうプロジェクト」	子どもの教育には、保護者や市民の協力が不可欠である。学校の取り組みや教職員の現状を市民が理解する機会を作り協力の輪を広げていく。 前年度事業では、保護者のニーズを調べ、ふくろい教育ドットCOMのWEBサイトを立ち上げた。今年度事業では、学校が必要とするボランティア活動等のニーズを把握し、情報を伝えることで市民と学校が助け合えるサイトの充実を目指す。 また、ネットを利用しない市民には、チラシ等を利用しボランティア活動の協力を呼び掛ける。	委託	教育に関連する情報発信を行うwebサイトの運営やwebアンケート、学校ボランティアのマッチングコンテンツの追加は、保護者と地域が一体となって、子どもたちを育てていこうという意識の醸成や学校現場の多忙化の解消が期待できるため「委託事業」として採択します。	教育企画課

令和2年度袋井市協働まちづくり事業 採択事業一覧

No.	団体名	事業名	概要	採択結果	総合評価	担当課
4	遠州アカデミー	袋井市民を対象にした名作映画鑑賞会と公開講座の開催	子供からシニア世代までの広い年代の方に対し、低料金で、名作映画を鑑賞する機会を提供するとともに、タイムリーな講師・題材で公開講座を開催し、市民の文化・芸術の向上を図る。	連携	子どもから大人まで幅広く名作映画を鑑賞する機会が提供されることは、身近に文化・芸術に親しむことができるため「連携事業」として採択します。	生涯学習課
5	ユースネットふくろい	子ども・若者の居場所「みんなの夢応援プロジェクト」	10代後半から30代までを中心に、働きたくても働けないニートや、ストレスを抱える有職者など、様々な困難を抱える若者に対する居場所づくりを行う。 また、10代前半までの子どもたちに対しては、ドリームマップづくりなどを通じて、学校以外の場で自分たちの夢を語り合う場としての居場所づくりを行う。 こうした子ども・若者の居場所づくりを通して、現在及び将来に向けて、すべての人が生涯にわたり現役で活躍できる社会の構築を目指す。	連携	引きこもり対策には、当事者に寄り添いながら長期間のフォローが必要であり、本事業は、非常に有意義であり「連携事業」として採択します。	◎しあわせ推進課 産業政策課 学校教育課
6	クローバーの会	低出生体重児・多胎児とその家族への支援事業	袋井市子育て支援フェスティバルにおいて活動紹介を行う。 低体重児・多胎児のサークル合同開催を継続し、子どもの成長発達に伴う困りごとに対応できるよう行政や他団体と連携しながら情報提供を行う。	連携	活動パネルの展示については、低出生体重児や多胎児への社会的な理解や支援に繋がり、サークルの開催については、育児不安や孤立化防止、外出の動機付けとなることから「連携事業」として採択します。	◎健康づくり課 すこやか子ども課